

# 千綿っ子だより

ちからを合わせて  
わらい声あふれる  
たのしい学校



## 80年目の夏

80年目の夏がやってきました。誰も傷つくことがない平和な世界が永遠に続くことを願い、原爆の犠牲になられた方々や、今なお原爆の影響で苦しんでいらっしゃる方々へ祈りをささげる大切な1日です。千綿小学校では、毎年8月9日に平和学習を行います。今年度は大きく2つの取組を行いました。

1つ目は、折り鶴づくりです。全校児童が縦割り班に分かれ、学年を越えた仲間が共に折り鶴づくりを行うものです。そもそも、なぜ鶴を折るのか気になって調べてみました。

「ツルは千年、カメは万年」と言われるように、鶴は、長寿や幸福を象徴するものとして知られています。特に、千羽鶴は、病気の快復や願い事の成就を祈るために折られることが多いようです。今では、平和の象徴としても折り鶴をかざります。折り鶴が「平和」と結びつけて考えられるようになったのは、被爆後12歳でなくなった佐々木禎子さんが、闘病中に自身の回復を願って、薬包紙で鶴を折り続けた出来事がはじまりのようでした。

日本はもちろんのこと、今では、世界各地で鶴が折られ続けていることを考えると、平和への願いは世界共通ではないかと思えます。千綿っ子たちも、一折一折に平和への思いを乗せて、折り鶴をつなぐことができました。できあがった折り鶴は、来年の4年生が、千綿小学校を代表して長崎原爆資料館に届ける予定です。

2つ目は、4年生による平和学習をまとめたビデオ鑑賞です。本年度、4年生は平和をテーマに学習をしてきました。原爆資料館や平和公園にも出かけ、被爆の現状について自分たちの目で実際に見て学んできました。そのことをまとめて発表した様子を映像に撮り、全校児童で鑑賞をしました。4年生だけの平和学習にしておくのではなく、4年生から全校へ発信し、知識を広げ深めることを目的にした取組です。

以上の2つの取組を本日行い、11時2分のサイレンに合わせて黙とうをいたしました。

このおたよりを書いているこの瞬間にも、世界では争い、傷つけあい、失われている命がたくさんあります。ぜひご家庭でも、身近な平和について、あらためて考える1日にしてください。



縦割り班で鶴を折りました。1年生も上手です！

